

# 令和元年度 授業改善推進プラン 学年メモ

# 音楽

	児童の実態	学習指導の課題	具体的な授業改善策	補充・発展的な学習指導の計画	具体目標	3月 成果と課題
一年	<p>○楽しく音楽に合わせて活動できるが、リズムをとらえづらかったり、拍が一定でなかったりする児童がいる。</p> <p>○楽しく教師の模倣をしたり階名模唱したりしている。簡単な鍵盤ハーモニカの模倣を楽しんでいる。</p>	<p>○音楽に合わせて演奏したり、身体表現したりする活動時間を十分に取、拍感を定着させる必要がある。</p> <p>○鍵盤ハーモニカの指運びの指導を十分にすることがある。</p>	<p>○曲に合わせ、主体的に体を動かしたり、拍やリズムを打ったりする活動を繰り返す。</p> <p>○個別に、短い旋律で鍵盤ハーモニカの旋律模倣をする。</p> <p>○課題曲が演奏できるようになった児童に選択曲を用意しておく。</p>	<p>○拍の取りやすい曲を選び、歌う楽しさを実感させる。手や足を使ったリズム打ちから始め、徐々に体の動きに慣れさせるようにする。</p> <p>○運指表のついた掲示物や楽譜を用意し、個別の指導をする。</p>	<p>○友達と一緒に、楽しく歌ったり、演奏したりして表現する。</p> <p>○運指を正確に、息の量を調節して鍵盤ハーモニカを演奏することができる。</p>	
二年	<p>○拍にのって、楽しく歌唱をしたり、体を動かして曲の気分を感じ取ったりしている。ファより高い音程の発声がやや不安定である。</p> <p>○簡単な曲を拍にのって鍵盤ハーモニカで演奏している。</p>	<p>○音の高さを意識させ、音感を身に着ける必要がある。</p> <p>○鍵盤ハーモニカの演奏で、タンギングや運指の指導を十分にすることがある。</p>	<p>○様々な音楽活動を組み合わせ、幅広い表現方法を取り入れる。また、表現を工夫するようにする。</p> <p>○一人ずつ音を聴き合ったり、演奏したりすることで、自分の音と向き合う時間をつくる。部分練習を繰り返し、タンギングを徹底する。</p>	<p>○拍の流れが分かりやすい曲やわかりやすい形式の曲を取り扱う。</p> <p>○簡単な旋律の模倣を繰り返し行い、運指に慣れさせ、自分の音色が模範の演奏の音色に近づくよう工夫する。</p>	<p>○友達と一緒に、楽しく歌ったり、演奏したりして表現する。</p> <p>○鍵盤ハーモニカで簡単な旋律の模倣や問答ができ、拍にのって簡単な曲を演奏する。</p>	
三年	<p>○自然で無理のない声で歌っている。響かせる歌い方ができる時とできない時がある。</p> <p>○特にリコーダーで、思いに合った表現ができない児童がある。</p>	<p>○自然で無理のない声で歌う指導を十分に行う必要がある。</p> <p>○思いや意図を表現を工夫するために、楽器の音色に気を付けられるような指導の時間をとることがある。</p>	<p>○曲想にふさわしい表現を様々な表現方法で工夫するとともに、一人一人響きのある声で歌えるようにする。</p> <p>○一人ずつ音を聴き合ったり、演奏したりする中で、タンギングや運指を意識づけると共に、確実に定着させていく。</p>	<p>○声の模倣やリレーをして、先生や友達の歌声と自分の歌声を聴き比べる場面を増やす。</p> <p>○聴き比べをし、音色の違いに気付くようにする。旋律模倣を繰り返し個別指導をする。</p>	<p>○自然で無理のない声で、曲想にふさわしい表現で歌う。</p> <p>○音色に気を付けてリコーダーを演奏する。</p>	
四年	<p>○響きのある声で歌おうと意識している。</p> <p>○タンギングと運指の習得に時間を要する児童が多い傾向にある。</p>	<p>○自分の歌声と友達の歌声を聞き合っ歌うことに時間をかける必要がある。</p> <p>○拍の流れにのってリコーダーを演奏するための手立てが必要である。</p>	<p>○一人～少人数で、自分たちで聴き合ったり歌い合ったりし声を重ねて響かせ合う活動をする。</p> <p>○個人練習の時間を確保し、部分的に演奏を繰り返す行う。</p>	<p>○聴き合っ歌う機会を増やす。</p> <p>○速度を落として練習をしたり、課題を焦点化して解決させることで達成感を持たせるようにする。</p>	<p>○自然で無理のない声で、楽しんで合唱などの声を重ね合う活動をする。</p> <p>○互いの音を聴き合いながら、簡単なアンサンブルの演奏をする。</p>	
五年	<p>○音楽を形づくっている要素を働かせて表現しようとしているが思いに合った表現ができていない場合がある。</p> <p>○楽器の特徴に合った演奏の仕方を工夫しようとするが、経験が少ない。</p>	<p>○思いや意図をもって表現を工夫する際に、思いどおりに音楽を形づくっている要素を働かせるよう指導を工夫する。</p> <p>○思いや意図をもって、曲想にふさわしい表現を工夫する際、楽器の特徴にあった演奏の仕方を工夫できるような支援が必要である。</p>	<p>○一人でも歌い、自分の課題を意識づける。よりよい響きや表現を工夫する。</p> <p>○曲想に合った表現や、楽器の特徴にあった演奏の仕方を試行錯誤できるようにする。</p>	<p>○短いフレーズで自分の表現と友達や先生の表現を聴き比べて自分の表現に生かす活動を繰り返す。</p> <p>○短いフレーズを繰り返し練習し、楽器の特徴を捉えて表現を工夫する経験を積ませる。</p>	<p>○響きのある声で、声を合わせて歌う。</p> <p>○楽器の特徴を生かして、工夫して音楽表現する。</p>	
六年	<p>○思いや意図をもって表現を工夫しようとしているが思いに合った表現までに至らないことがある。</p> <p>○楽器の特徴に合った演奏の仕方を工夫しようとしている。</p>	<p>○思いや意図に合った表現をするための指導や、音楽の諸要素のうち、どの要素を働かせるとどんな曲想になるのか試行錯誤する時間を確保する必要がある。</p> <p>○よりよい演奏のために、演奏の仕方を試行錯誤する時間を確保する必要がある。</p>	<p>○体の使い方にも意識を向け、思いや意図をもち、よりよい表現を工夫する。ペアやグループで思いに合った表現ができていないか聴き合っ歌い合ったりする。</p> <p>○部分を取り上げて演奏し意識づける。</p>	<p>○短いフレーズで自分の表現と教師と友達の表現を聴き比べて良さに気付き、その良さを自分の表現に生かす活動を繰り返す。</p> <p>○繰り返し練習する中で、自分に応じた演奏の工夫を見付けられるようにする。</p>	<p>○美しく響きのある声で、思いや意図をもって表情豊かに歌う。</p> <p>○楽器の特徴を生かして、曲想を生かした表現を工夫し、思いや意図をもって合奏する。</p>	